

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価者版(2016年版、名古屋中核圏環境性能評価システムマニュアル2016) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)名古屋市千種区法王町一丁目共同住宅新築工事	階数	地上14F
建設地	名古屋市千種区堀池通一丁目9番、9番 法王町一丁目9番、9番2、9番5、13番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種中高層住居専用地域 準防火地域	平均居住人員	195 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年1月26日
敷地面積	2,716 m ²	作成者	
建築面積	1,062 m ²	確認日	2022年1月26日
延床面積	8,731 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.5

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	62%
③上記+②以外の	62%
④上記+	62%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 計画敷地周辺は覚王山日泰寺・揚輝荘といった景観・歴史的資源を持ち、緑豊かな地域である。本計画は、周辺の景観と調和するような重厚感のあるテクスチャの選択と、景観資源から連なる緑が連続する外構計画を行うことで、歩道を歩いても地域の豊かさを感じられる計画とした。	その他 無し	
Q1 室内環境 道路交通騒音に対し昼間45dB以下、夜間40dB以下となるよう開口部等の遮音性能を決定した。	Q2 サービス性能 主要な居室の天井高さを2.55m確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 附置義務台数を上回る駐車場、駐輪場を確保した。
LR1 エネルギー 断熱性能は品確法温熱等級4にて設計した。	LR2 資源・マテリアル 吹付硬質ウレタンフォーム(現場発泡)はノンフロンを指定。	LR3 敷地外環境 歩行者に対し地域の豊かさを感じられるよう、外構に植栽を設けると計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)名古屋市千種区法王町一丁目共同住宅新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.1
LR1	エネルギー	4.2	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.8
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.1



2. 自然共生

評価点 = 2.8



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。